

「アジアに向けた成長拠点を形成し、安全・安心で 快適な生活を支える交通」を目指して

～福岡県交通ビジョン2012～

1. はじめに

福岡県では、「県民幸福度日本一の福岡県」を目指し、県民生活の「安定」「安全」「安心」の向上に取り組むことを基本とした「総合計画」を策定し、この「総合計画」を交通の視点から捉えた「福岡県交通ビジョン2012」（以下、「交通ビジョン」という）を策定しました。

2. 福岡県の強み

(1) 日本で最もアジアに近い地理的条件と優れたネットワーク

- わが国でアジアに最も近い大都市圏
 - ・福岡空港から釜山50分、上海90分
 - ・博多港から高速艇で釜山2時間55分
- 「福岡空港」「北九州空港」による充実した航空路線
- 「北九州港」「博多港」2つの国際拠点港湾
- 「苅田港」「三池港」2つの重要港湾
- 新幹線、高速道路などの高速交通網が発達
 - ・九州新幹線（鹿児島ルート）全線開通により博多から鹿児島中央、最速77分
- 国際コンベンション開催件数全国2位 等

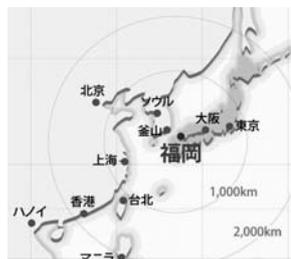
(2) 多様な産業集積と優秀な人材

- 九州内人口の3分の1、経済規模は九州全体の約4割を占める
- 全国5位の35の国公立・私立大学が立地
- 自動車、半導体、バイオ、ロボット、ソフトウェア、環境、エネルギーなどの先端成長産

業が集積 等

(3) 快適な生活環境と多彩な地域の歴史・文化

- 温暖な気候、充実した都市機能
- 博多港の鮮魚取扱高（金額）全国1位
- 遣隋使・遣唐使など古代から続くアジアとの交流の歴史 等



九州新幹線

3. 「交通ビジョン」の目的

福岡県の持つ強みを活かし、県民生活の「安定」「安全」「安心」を向上させるためには、交通関係者（県民、交通事業者、行政）が同じ方向に向かって交通施策を進めることで、道路交通、鉄道交通、海上交通及び航空交通が連携を図り、快適な交通環境を構築することが必要です。

「交通ビジョン」は、まさしく、交通関係者が協働して快適な交通環境を構築するための交通施策の方向性を示すものです。

福岡県知事 **小川**

ひろし **洋**



4. 「将来像」と「基本理念」

「交通ビジョン」における「将来像」と「基本理念」は以下のとおりです。なお、「将来像」全てにおいて「地球環境への配慮」を行います。

〈将来像〉

〈将来像1〉

アジアに向けたグローバル化を支える
交通であること

〈将来像2〉

地域間の連携強化や地域の活性化を支える
交通であること

〈将来像3〉

災害に強く、事故のない、安全な
交通であること

〈将来像4〉

日常生活の移動手段を確保し、暮らしを守る、
安心な交通であること

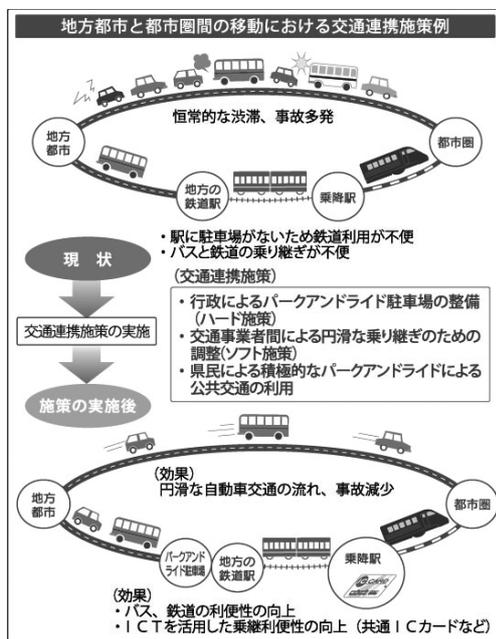


〈基本理念〉

「アジアに向けた成長拠点を形成し、安全・安心
で快適な生活を支える交通」

5. 「交通ビジョン」の推進

「交通ビジョン」推進のため、交通関係者が連携を図り、ハード・ソフトを組み合わせた施策を推進します。



6. おわりに

福岡県では、7月の九州北部豪雨等により県南地域を中心に甚大な被害が発生し、県民生活や県内の経済活動に大きな打撃を受けました。

県としては、これまで、人命救助はもとより、孤立集落の解消をはじめ、被災地の応急復旧と避難者の方々の支援に全力を挙げてきており、「交通ビジョン」の将来像3「災害に強く、事故のない、安全な交通」を目指すためにも、今後も、本復旧に向け全力で取り組んでまいります。

みなさまにおかれましても、本県の復旧にご協力賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。